



公益財団法人 幼少年教育研究所 第118回 新幼児教育講座

一人ひとりの命が響き合う

～生命・くらし・安心を糸口に考える春～

キーワードは『一人ひとり、一つひとつ』

子どもであろうと、大人であろうと、園での暮らしに、あるがまま、そのヒトらしさ、多様な声、声にならない想い、場（環境）や物、時間の声などをいかに響き合わせていけるか。

一人ひとり、一つひとつが響き合うために、響き合う新年度を迎えるために欠かせない『安全と安心と安定』を土台としつつ、“生命・くらし・安心”の本質を丁寧に見つめる春にしましょう。

本講座のすべてに、明日を共に笑顔で迎えるヒントがたくさん散りばめられています。ぜひ、共に考える一日にしましょう♪

実行委員長 櫻井喜宣

全体会・基調講演 10:30～12:00

俯瞰図番号 A4

親性脳とアタッチメント

～脳科学でわかったこれからの保育のススメ～

保育、幼児教育は知的な営みであり、誰でもできることではない。それは脳の発達、脳科学を根拠に示されている。しかし、デジタル空間で過ごすことが当たり前となっている今の世の中…。親性脳が育まれない世代が親になっていくことへの問いかけと共に、これからの保育のあり方を一緒に考える時間になりたいと思います。



京都大学大学院 教育学研究科教授 明和政子先生

分科会 13:15～16:15

新任保育者向けのコース。現場の声を織り重ね、ワクワクの新学期を！

俯瞰図番号 B4

分科会 A



戸山幼稚園顧問 小林愛子先生

「ワクワク！！ドキドキ?! 保育者のはじめの一步」
いよいよ憧れの保育者になる4月を前に、期待と不安が入り混じる3月。動画や写真で実際の子どもの姿を見て現場の様子を想像したり、参加者同士で心配事を出し合ったりして、あなたのワクワクを増やして、ドキドキを和らげる講座です。保育者として、はじめの一步を安心してふみだせるよう応援します！



千葉大学准教授 佐藤有香先生

未来の共生社会を支える保育者・乳幼児関係施設について考える

俯瞰図番号 D3

分科会 B



香川大学教授 松井剛太先生

共生社会の担い手となる基礎を培う保育者・乳幼児関係施設とは？を松井先生、守先生それぞれの視点から切り込んでいきます。後半企画している、お二人の先生のクロストークからも学びを得つつ、特別支援教育（保育）、インクルーシブ教育（保育）という言葉を使わない表現と実践を共に考えてみたい。一人ひとりが当たり前にもつ権利を意識しつつ。



こども教育 宝仙大学教授 守 巧先生

コドモの世界、オトナの世界から安全・安心・安定を考える

俯瞰図番号 B1

分科会 C

安全・安心・安定は、一人ひとりの暮らしの中で大事な要素。しかし、それで終わらない。子どもの傍らで暮らしながら要素を醸成しつつ挑戦へと繋げてきた実践と、大人と共に暮らしながら要素を醸成しつつ挑戦を続けてきた実践から、beingそしてwell-beingを共に考えていきましょう。

武蔵野大学教授 箕輪潤子先生



福島めばえ幼稚園 副園長 伊藤ちはる先生



実行委員長 櫻井



全体会・基調講演 10:30～12:00

俯瞰図番号 A4

親性脳とアタッチメント

～脳科学でわかったこれからの保育のススメ～

保育、幼児教育は知的な営みであり、誰でもできることではない。それは脳の発達、脳科学を根拠に示されている。しかし、デジタル空間で過ごすことが当たり前となっている今の世の中…。親性脳が育まれない世代が親になっていくことへの問いかけと共に、これからの保育のあり方を一緒に考える時間になりたいと思います。



京都大学大学院 教育学研究科教授 明和政子先生

ココロとカラダの安全と安心 今、私たちにできることを考える

俯瞰図番号 A5

分科会 D

食育心理研究所 代表 国光美佳先生



ココロとカラダが元気になるミネラルのおはなしは、命がテーマ。日本が抱える大きな問題と繋がる『食』は、子どもの命を守るために今できることを考える重要な要素。共に会いましょう。

子どもの“ココロとカラダ”の安心安全のために大人の私たちができることは？生まれた瞬間（とき）から始まる性教育、包括的性教育のおはなしから、保育、子育てを考えましょう。

1つぶの種まき 代表 武市梨絵先生

